

令和３年網走市議会第３回定例会（９月）に係る
一般質問答弁事項進捗状況一覧表

管理 番号	ページ	件 名	担当部課名
R3-01	１	パートナーシップ制度導入への方針	企画総務部 企画調整課
R3-02	３	市長への手紙の内容の公表について	企画総務部 企画調整課
R3-03	５	地域要望の公表について	企画総務部 企画調整課
R3-04	７	市の主要事業の見える化について	企画総務部 企画調整課
R3-05	９	答弁の進捗状況の公表について	企画総務部 総務防災課
R3-06	１１	行政運営の業務そのものの棚卸の必要性について	企画総務部 デジタル化推進室
R3-07	１３	デジタルコンテンツの取り組みについて	企画総務部 デジタル化推進室
R3-08	１５	18歳成年に向けた消費者教育について 【小中高、農大生も含めた周知・啓蒙の推進】	市民環境部 市民活動推進課
R3-09	１７	18歳成年に向けた消費者教育について 【SNSを活用した相談方法の検討】	市民環境部 市民活動推進課
R3-10	１９	生活サポートセンターでの家計指導への活用について	健康福祉部 社会福祉課
R3-11	２１	訪問型就労準備支援事業の研究状況・進捗状況について	健康福祉部 社会福祉課
R3-12	２３	デジタルコンテンツの取り組みについて	健康福祉部 介護福祉課
R3-13	２５	加齢性難聴者への支援策への考えについて	健康福祉部 介護福祉課
R3-14	２７	デジタルコンテンツの積極的な活用について	観光商工部 観光課
R3-15	２９	女性デジタル人材育成への取り組み	観光商工部 商工労働課
R3-16	３１	（どこバス）高齢者利用への対応について	観光商工部 商工労働課
R3-17	３３	公共交通の未来に向けて市のどこバスに関する考え方について	観光商工部 商工労働課
R3-18	３５	どこバス本格導入に向けた国への要望について	観光商工部 商工労働課
R3-19	３７	どこバスの活用方法について	観光商工部 商工労働課

R3-20	3 9	(どこバス)スピーディーな導入に向けての行動について	観光商工部 商工労働課
R3-21	4 1	地域の企業・事業者へのDXのマインドとビジョンの共有を政策的に展開していく必要性について	観光商工部 商工労働課
R3-22	4 3	デジタル人材の育成について	観光商工部 商工労働課
R3-23	4 5	情報共有の仕組みに対する検討状況について	建設港湾部 都市管理課

市議会一般質問答弁事項進捗状況報告書

				管理番号	R3-01
議 会 区 分	令和3年 9月議会	質 問 議 員	川原田議員【民主市民ネット】		
		担 当 部	企画総務部	担 当 課	企画調整課
質問事項		パートナーシップ制度導入への方針			
質問要旨		LGBTsをはじめ多様性を認め合う社会について パートナーシップ制度導入への方針			
答弁要旨		男女共同参画プラン推進会議で意見交換を進めながら、公式サイトや広報紙での特集記事の掲載、講演会の開催など、知識や理解を深める取り組みを進めています。 100を超える自治体が制度化しており、主に公営住宅への入居要件を満たす取り扱いがなされるほか、民間のサービス提供も増えてきていると認識しています。導入にあたっては、さまざまな観点での慎重な議論と準備が必要と考えています。 北見市での導入検討状況、男女共同参画プラン推進会議からの意見も参考に研究を進めていきます。			
処理計画		北見市での導入検討状況について情報収集する。 網走市男女共同参画プラン推進会議での議論、意見交換を進める。			
完結予定		未定			

四半期ごとの処理状況		処理継続 又は完結
第 1 期 (7 月～9 月)	事務処理計画を決定しました。	継続
第 2 期 (10 月～12 月)	北見市での導入検討状況の情報を収集しました。	継続
第 3 期 (1 月～3 月)	北見市での導入検討状況の情報を収集しました。	継続
第 4 期 (4 月～6 月)	北見市ほか先行都市の導入事例、課題、方策を情報収集します。 男女共同参画プラン推進会議での議論、意見交換を進めます。	継続
備 考 欄		

市議会一般質問答弁事項進捗状況報告書

				管理番号	R3-02
議 会 区 分	令和 3 年 9 月議会	質 問 議 員	小田部議員【同志会】		
		担 当 部	企画総務部	担 当 課	企画調整課
質問事項		市長への手紙の内容の公表について			
質問要旨		内容について市のホームページに掲載し、多くの市民に見てもらうことで市の考えや対応などを知ってもらえる機会にもなると思う。ぜひ実施を。			
答弁要旨		お寄せいただいたご意見に対する市の考えを市民の皆様と共有することは、協働のまちづくりにも資するものと考えています。 手紙の多くは個人情報を含んでおり、原文のまま公表することは難しいと判断していますので、概要としてまとめて整理するなど手法を工夫して公表を進めていきます。			
処理計画		令和 3 年度分の市長への手紙を対象に、公表を進めます。			
完結予定		令和 4 年 8 月			

四半期ごとの処理状況		処理継続 又は完結
第 1 期 (7 月～9 月)	事務処理計画を決定しました。	継続
第 2 期 (10 月～12 月)	手紙の主旨、個人情報の包含状況、返信内容を随時確認しています。	継続
第 3 期 (1 月～3 月)	手紙の主旨、個人情報の包含状況、返信内容を随時確認しています。	継続
第 4 期 (4 月～6 月)	公表に向けて調整しています。	継続
備 考 欄		

市議会一般質問答弁事項進捗状況報告書

				管理番号	R3-03
議 会 区 分	令和 3 年 9 月議会	質 問 議 員	小田部議員【同志会】		
		担 当 部	企画総務部	担 当 課	企画調整課
質問事項		地域要望の公表について			
質問要旨		地域要望について、ホームページに公開することで、同じように思っていた人たちに市の考えが伝わったり、地域の要望を市に出す町内会活動なので、地域の町内会活動への理解にもつながると思う。見解を。			
答弁要旨		昨年度は28の町内会や区会から81件の要望がありました。 内訳は、道路・除雪関連が42件、環境関連が10件、防災・防犯関連が7件。道路や除雪に関する要望が非常に多く、殆どが場所を指しての修繕、草刈りといった内容です。 こうした要望は項目ごとにまとめるなどし、情報共有が望ましい要望は、町内会に公表の同意を求めるなど、具体的なルールを検討し公表を進めていきます。			
処理計画		1 1 月末を目標に公表を進めます。			
完結予定		令和 3 年 1 1 月			

四半期ごとの処理状況		処理継続 又は完結
第 1 期 (7 月～9 月)	事務処理計画を決定しました。	継続
第 2 期 (10 月～12 月)	令和 3 年度受理分について、網走市公式サイトにて公表しました。	完結
第 3 期 (1 月～3 月)		
第 4 期 (4 月～6 月)		
備 考 欄		

市議会一般質問答弁事項進捗状況報告書

				管理番号	R3-04
議 会 区 分	令和 3 年 9 月議会	質 問 議 員	小田部議員【同志会】		
		担 当 部	企画総務部	担 当 課	企画調整課
質問事項		市の主要事業の見える化について			
質問要旨		主要事業など各部がより力を入れて推進していく事業の目標設定の公表について、毎年度、見える化することで市民のみなさんへの理解と協力を得られると考えるが、考えは。			
答弁要旨		総合計画を長期的な指針、総合戦略を中期的な指針、さらにこれらに基づく個別計画により取り組みを進めているところです。総合戦略は「選択する未来会議」での検証を踏まえた上で、目標値や進捗状況を公式サイトで公表しています。 専門性が増す個別計画は担当課による策定、管理が基本で、目標設定、進捗状況の管理は担当課が行っています。 このほか「主要施策の成果等報告書」「市教育委員会事務点検・評価報告書」により目的、内容、実績などを公表しています。 現状の公表資料を再確認しつつ、目的に対する成果指標、活動指標を、どのように分かりやすくお伝えできるか、既存資料の活用を念頭に研究していきます。			
処理計画		令和 4 年度予算の公表の手法について研究を進めます。			
完結予定		令和 4 年 8 月			

四半期ごとの処理状況		処理継続 又は完結
第 1 期 (7 月～9 月)	事務処理計画を決定しました。	継続
第 2 期 (10 月～12 月)	公表の手法について研究を進めています。	継続
第 3 期 (1 月～3 月)	公表の手法について研究を進めています。	継続
第 4 期 (4 月～6 月)	公表に向けて調整しています。	継続
備 考 欄		

市議会一般質問答弁事項進捗状況報告書

				管理番号	R3-05
議会区分	令和3年9月議会	質問議員	小田部議員【同志会】		
		担当部	企画総務部	担当課	総務防災課
質問事項		答弁の進捗状況の公表について			
質問要旨		他の自治体では、議会の一般質問・代表質問での答弁で「検討する」「取り組んでいく」としたものの、その後の進捗状況を公表しているところがある。 その後の検討経過や結果の市の考えもわかり、結果として、市民に身近な行政にもなると思うが、当市での取り組みの見解を伺う。			
答弁要旨		議会の一般質問・代表質問において、「検討」などの答弁は様々なケースがあり、統一的に捉えることは難しいが、基本的には、各担当部署において、必要な調査を進め、可能なものは、事務事業に反映しているものと認識しています。 また、各議員からは、定例会、臨時会に加え、予算・決算特別委員会、各所管委員会など様々な機会において、進捗状況の質疑があり、都度、ご答弁をしています。 ご提案の件については、質問の内容は、様々であるので、他市の状況なども踏まえ、研究します。			
処理計画		他市の状況を調査し、公表に向けて研究する。			
完結予定		令和3年12月 予定			

四半期ごとの処理状況		処理継続 又は完結
第 1 期 (7 月～9 月)	処理計画を決定。	継続
第 2 期 (10 月～12 月)	他市の状況を調査。	継続
第 3 期 (1 月～3 月)	他市の状況調査を踏まえ、実施方法を研究します。	継続
第 4 期 (4 月～6 月)	令和 4 年度中に実施できるように準備を進めていきます。	完結
備 考 欄		

市議会一般質問答弁事項進捗状況報告書

				管理番号	R3-06
議 会 区 分	令和 3 年 9 月議会	質 問 議 員	近藤議員【志誠会】		
		担 当 部	企画総務部	担 当 課	デジタル化推進室
質問事項		行政運営の業務そのものの棚卸の必要性について			
質問要旨		全業務の棚卸に類する取り組みをされているのであれば、その結果の全体傾向を示していただきたい。行われていないのであれば、デジタル・テクノロジーの活用の前に、行うべきだと考えるが、状況を伺う。			
答弁要旨		現在、デジタル化に伴う事業費調査、ファイリング・システム導入に向けた事務調査、伝える予算のデジタル化に向けた調査を行っています。 行政運営のデジタル化にあたっては、全ての事務・事業について、デジタル化を前提とした見直しが必要と認識しており、今後、若手職員などで構成する検討会なども設置しながら、何をデジタルでしたいのかといった現場で起きていることを念頭に調査、研究します。			
処理計画		網走市DX推進計画を策定し、若手職員による検討会を設置する。			
完結予定		令和 3 年 11 月 予定			

四半期ごとの処理状況		処理継続 又は完結
第 1 期 (7 月～9 月)	網走市 DX 推進計画の策定と若手 DX 研究グループの設置を進めます。	継続
第 2 期 (10 月～12 月)	若手職員による DX 研究グループを設置しました。	継続
第 3 期 (1 月～3 月)	網走市 DX 推進計画を策定し、これに沿って令和 4 年度の取り組みを予算に計上しました。	完結
第 4 期 (4 月～6 月)		
備 考 欄		

市議会一般質問答弁事項進捗状況報告書

				管理番号	R3-03
議会区分	令和3年9月議会	質問議員	近藤議員【志誠会】		
		担当部	企画総務部	担当課	デジタル化推進室
質問事項		デジタルコンテンツの取り組みについて			
質問要旨		各種コンテンツの試行的な取り組みについて小さな変化を実感していただくという点では、公共施設の予約状況がリアルタイムで把握できる仕組みとオンライン予約の導入、新しい庁舎に無人のデジタル窓口をデモンストレーション的に設置するなどは、すぐにでも取り掛かってみてもよいものとするが、認識を伺う。			
答弁要旨		公共施設の予約システムの導入については、市民の利便性の向上に繋がるかといった視点を持って、「市民サービスのデジタルファースト」の中で検討します。 新庁舎におけるデジタル窓口の設置については、市民の利便性の向上に加え、現状での課題、業務の効率化といった視点を持って、「行政運営のデジタルファースト」の中で検討します。			
処理計画		①網走市DX推進計画を策定します。 ② 先行自治体の事例を参考とし、導入対象施設や導入システムについて検討します。 ③ 新庁舎における窓口業務の検討と合わせてデジタル窓口の設置について検討します。			
完結予定		令和5年2月 予定			

四半期ごとの処理状況		処理継続 又は完結
第 1 期 (7 月～9 月)	網走市 DX 推進計画の策定と若手 DX 研究グループの設置を進めます。	継続
第 2 期 (10 月～12 月)	若手職員による DX 研究グループを設置しました。	継続
第 3 期 (1 月～3 月)	網走市 DX 推進計画を策定し、令和 4 年度予算に計上しました。 ①オンライン予約システム導入事業 ②窓口支援システム導入事業	完結
第 4 期 (4 月～6 月)		
備 考 欄	①オンライン予約システム導入事業⇒令和 4 年 11 月運用開始 ②窓口支援システム導入事業⇒令和 5 年 2 月運用開始	

市議会一般質問答弁事項進捗状況報告書

				管理番号	R3-08
議 会 区 分	令和3年 9月議会	質 問 議 員	永本議員【公明クラブ】		
		担 当 部	市民環境部	担 当 課	市民活動推進課
質問事項		18歳成年に向けた消費者教育について 【小中高、農大生も含めた周知・啓蒙の推進】			
質問要旨		小中学生のうちから消費者教育に取り組む必要があるが、学校教育部とも連携して、校長会等の議題に入れ、出前授業の実例報告を紹介し、学校側から要請してもらえるように働きかけてはどうか。 東京農大のオリエンテーション等でパンフレットの配布と共に話をさせてもらうなど、積極的な取り組みをしてはどうか。			
答弁要旨		今年7月に実施した第一中学校における出前講座の実績を活かし、各学校のニーズを踏まえた上で、小中学生も対象とした出前講座の充実に向け取り組みを進めて行く。 高校生、農大生に対しても、成年年齢の引き下げに併せ、若者が気軽に消費者相談室に問い合わせできるよう、困ったときや不安な時は、一人で悩まずに相談ができる場所があることを含め、各種媒体等による、消費者教育の周知・啓蒙を関係機関と連携して行っていく。			
処理計画		令和3年度についても「成年年齢変更啓発チラシ」を作成し、高校生・大学生を対象に配布啓蒙を行う。			
完結予定		令和4年5月 予定			

四半期ごとの処理状況		処理継続 又は完結
第 1 期 (7 月～9 月)	処理計画を決定。	継続
第 2 期 (10 月～12 月)	処理計画内容検討	継続
第 3 期 (1 月～3 月)	処理計画内容作成・印刷 (成年年齢変更啓発チラシ)	継続
第 4 期 (4 月～6 月)	市の高校生（2 校：888 枚）、農大生（新入学生：400 枚） に対し、令和 4 年 5 月に成年年齢変更啓発チラシを配布し 啓発を行った。	完結
備 考 欄		

市議会一般質問答弁事項進捗状況報告書

					管理番号	R3-09
議 会 区 分	令和3年 9月議会	質 問 議 員	永本議員【公明クラブ】			
		担 当 部	市民環境部	担 当 課	市民活動推進課	
質問事項		18歳成年に向けた消費者教育について 【SNSを活用した相談方法の検討】				
質問要旨		若者は電話で話すよりLINEなどのSNSを使うことが多く、まして、どんな人が電話に出るのか分からない消費者協会に電話するのは、かなりハードルが高いのではないかと思います。 SNSを活用した相談方法の検討も必要ではないかと思うがどうか。				
答弁要旨		全道・全国的にも消費生活相談をメールやSNSを活用して実施している自治体は多くないのが現状。 今後は国においても消費生活相談のデジタル化を検討していることから、当市においても、国の動向に注視し、相談方法について研究を進めて行く。				
処理計画		道内の他市の動向に注視し、相談方法について研究する。				
完結予定		令和4年6月 予定				

四半期ごとの処理状況		処理継続 又は完結
第 1 期 (7 月～9 月)	処理計画を決定。	継続
第 2 期 (10 月～12 月)	道内の他市の状況を調査研究。	継続
第 3 期 (1 月～3 月)	道内の他市の状況を調査研究。	継続
第 4 期 (4 月～6 月)	道内の状況を確認し研究した結果、現状、メールやSNSの導入は下記の事項が危惧されることから、当面、導入を見送ることとする。 ①消費生活相談は、ケースバイケースであり、詳細に内容を聞き取る必要があることから、メール等のやり取りでは完結できないため、来所が望ましい（＝現状、デジタル化に馴染まない） ②個人情報の漏洩リスク、セキュリティの問題	完結
備 考 欄		

市議会一般質問答弁事項進捗状況報告書

					管理番号	R3-10
議 会 区 分	令和3年 9月議会	質 問 議 員	永本議員【公明クラブ】			
		担 当 部	健康福祉部	担 当 課	社会福祉課	
質問事項		生活サポートセンターでの家計指導への活用について				
質問要旨		生活サポートセンターに相談に来られる方の中には、適切な家計管理が出来ず、借金を繰り返す方も多いため、来年度から家計管理の指導も行おうと聞いている。 金融庁が作成した「金融リテラシー・マップ」は、様々な現場で実際に金融教育を担う方に利用してもらうために作成されたもの。 こうしたものを家計管理の指導に活用してもいいのではないかなと思うが、いかがか。				
答弁要旨		生活困窮者自立支援制度における「家計改善支援事業」の実施にあたっては、実施体制や指導方法、更には、金融リテラシーマップ等の資材の活用を含め、検討する。				
処理計画		・ 令和4年度の事業実施に向け、今後委託（予定）先である社会福祉協議会と協議を行う。 ・ その際には、本答弁の内容も含め事業内容の検討を行う。				
完結予定		令和4年4月				

四半期ごとの処理状況		処理継続 又は完結
第 1 期 (7 月～9 月)	処理計画を決定。	継続
第 2 期 (10 月～12 月)	「家計改善支援事業」の事業内容の検討	継続
第 3 期 (1 月～3 月)	・「家計改善支援事業」の委託先の検討 ・「家計改善支援事業」の委託先との協議	継続
第 4 期 (4 月～6 月)	・令和 4 年 4 月から生活困窮者自立支援制度における「家計改善支援事業」開始。 ・相談に基づく支援実施にあたっては、必要に応じて金融庁作成の資料等の活用を行うこととしている。	完結
備 考 欄		

市議会一般質問答弁事項進捗状況報告書

				管理番号	R3-11
議 会 区 分	令和 3 年 9 月議会	質 問 議 員	村椿議員【日本共産党議員団】		
		担 当 部	健康福祉部	担 当 課	社会福祉課
質問事項		訪問型就労準備支援事業の研究状況・進捗状況について			
質問要旨		（2年前の質問では）国が2018年度から始めた訪問型就労準備支援事業について、ニーズ等も含めて、今後研究するとのことだが、その後の進捗状況はどうか。			
答弁要旨		就労準備支援事業については、令和4年度の実施に向けて準備を進めている。 「訪問型就労準備支援事業」については、地域において対象者が馴染みやすい就労体験先を開拓・マッチングする取り組みとして、国も推奨している。 来年度における就労準備支援事業の実施に当たっては、支援の対象となる方の状況に応じて対応できるよう、訪問型支援の実施を検討していく。			
処理計画		・ 令和4年度の事業実施に向け、今後委託（予定）先である社会福祉協議会と協議を行う。 ・ その際には、本答弁の内容も含め事業内容の検討を行う。			
完結予定		令和4年4月			

四半期ごとの処理状況		処理継続 又は完結
第 1 期 (7 月～9 月)	処理計画を決定。	継続
第 2 期 (10 月～12 月)	「就労準備支援事業」の事業内容の検討	継続
第 3 期 (1 月～3 月)	・「就労準備支援事業」の委託先の検討 ・「就労準備支援事業」の委託先との協議	継続
第 4 期 (4 月～6 月)	・令和 4 年 4 月から生活困窮者自立支援制度における「就労準備支援事業」開始。 ・相談に基づく支援実施にあたっては、必要に応じて訪問支援を行うこととしている。 ・あわせて、本年度中に「LINE」を活用した相談も実施する予定。	完結
備 考 欄		

市議会一般質問答弁事項進捗状況報告書

				管理番号	R3-12
議会区分	令和3年9月議会	質問議員	近藤議員【志誠会】		
		担当部	健康福祉部	担当課	介護福祉課
質問事項		デジタルコンテンツの取り組みについて			
質問要旨		小さな変化を実感していただくという点では、(3項目のうちの一つ)②お年寄りの集いの場でのデジタル・テクノロジーを活用した新たなコンテンツの試行などはすぐにでも取り掛かってみて良いものとするが、認識を伺う。			
答弁要旨		現在、ふれあいの家において、スマートフォンを活用したビデオ通話の体験や動画の視聴など楽しみながら学べる内容を計画している。 これまで10箇所のボランティア団体と打ち合わせを行い、9月からの順次実施を予定していたが、コロナ渦による活動制限により未実施となっているため、緊急事態措置期間が終了の際、早急に取り組む。			
処理計画		緊急事態措置期間が終了の際、早急に取り組む。 年内に「高齢者ふれあいの家」全14か所で「スマホ教室」を実施 【実施内容】「スマートフォンを知ろう！」 ○スマートフォンって何？ ○スマートフォンで出来ること [実演]・ビデオ通話 ・デジタル写真の送信 ・声による操作			
完結予定		令和3年12月 予定			

四半期ごとの処理状況		処理継続 又は完結
第 1 期 (7 月～9 月)	処理計画を決定。	継続
第 2 期 (10 月～12 月)	『シニア向けデジタル講座』の実施 【講座内容】「スマートフォンを知ろう！」 ① スマートフォンってなに？ ② スマートフォンで出来ること 【対象及び実績】 ① ふれあいの家：全 14 ヶ所、すべてで実施。 (R3. 10. 15、なでしこ ～ R3. 12. 17、北地区) ② 老人クラブ：6 クラブで実施（全 34 クラブ）。 (R3. 11. 22、嘉多山光寿 ～ R3. 12. 14、潮見老人)	完結
第 3 期 (1 月～3 月)		
第 4 期 (4 月～6 月)		
備 考 欄	今後も、新型コロナウイルス感染状況を考慮しながら、ふれあいの家などでの実施を予定している。 (R4. 4. 18、潮見老人クラブで実施済み。)	

市議会一般質問答弁事項進捗状況報告書

				管理番号	R3-13
議 会 区 分	令和 3 年 9 月議会	質 問 議 員	松浦議員【日本共産党議員団】		
		担 当 部	健康福祉部	担 当 課	介護福祉課
質問事項		加齢性難聴者への支援策への考えについて			
質問要旨		健康をキーワードにしている水谷市政として、4年後には人口の5人に一人が75歳以上になる中で、加齢性難聴者への支援策も重要と考えるが見解を。			
答弁要旨		近年、様々な議論がなされ、難聴が認知症の危険因子の一つとして挙げられ、現在、補聴器を用いた聴覚の補正による認知機能低下予防の効果を検証するための研究が進められているため、これらの研究結果に伴う国の動向を注視するとともに、他自治体の取り組み状況を参考に研究する。			
処理計画		国の動向を注視し、他自治体の取り組み状況を参考に研究する。 ・研究結果を踏まえた国の動向をチェックする。 ・全道自治体における取組状況を把握する（助成対象・助成額・課題等）			
完結予定		令和 5 年 12 月 予定			

四半期ごとの処理状況		処理継続 又は完結
第 1 期 (7 月～9 月)	処理計画を決定。	継続
第 2 期 (10 月～12 月)	国の動向及び全道（実施）自治体の状況確認。	継続
第 3 期 (1 月～3 月)	国の動向及び全道（実施）自治体の状況確認。	継続
第 4 期 (4 月～6 月)	・実施方法等の検討。 （介護保険事業の市町村特別給付等「横出し」における助成を検討。計画策定委員会における議論を要することから、令和 5 年開催の第 9 期計画策定委員会に上程を計画。）	継続
備 考 欄		

市議会一般質問答弁事項進捗状況報告書

				管理番号	R3-14
議会区分	令和3年 9月議会	質問議員	近藤議員【志誠会】		
		担当部	観光商工部	担当課	観光課
質問事項		デジタルコンテンツの積極的な活用について			
質問要旨		ビッグデータの活用で政策の効果や精度を高めるという視点を持ち、そういった視点をもったデジタルコンテンツの積極的な活用に踏み込んでいただきたい。			
答弁要旨		ビッグデータの活用により、従来のアンケート調査結果では得られなかった、来訪者のニーズや地域の課題を把握し、よりの確に来訪者へ訴求するアプローチが可能になる。 OTAを活用したクーポン助成事業では、デジタルプロモーションを活用し、旅行者の属性情報、消費行動の集約と分析が可能になるなど、デジタルコンテンツを活用したマーケティングは、データの収集や分析が、スピーディかつ容易になり、旅行者が求めるニーズや訴求ポイントを把握することが可能になる。			
処理計画		DX化に向け、観光サイトの改修やデジタルプロモーション用の動画制作について検討を開始するとともに、そのアクセス状況などからマーケティングが行える態勢の整備についても検討を行う。			
完結予定		令和5年3月 予定			

四半期ごとの処理状況		処理継続 又は完結
第 1 期 (7 月～9 月)	処理計画を決定。	継続
第 2 期 (10 月～12 月)	令和 4 年における事業実施に向けて、課内及び専門人材と協議を実施	継続
第 3 期 (1 月～3 月)	令和 4 年における事業実施に向けて、課内及び専門人材で協議を実施	継続
第 4 期 (4 月～6 月)	北海道運輸局や北海道観光振興機構、ひがし北海道自然美への道 DMO や網走市観光協会 DMO などと連携し、ビッグデータの活用も含めた、効果的な観光 PR を実施。 高品質の観光 PR 動画を制作しデジタルマーケティング、プロモーションなど PDCA サイクルの確立、実践。	継続
備 考 欄		

市議会一般質問答弁事項進捗状況報告書

					管理番号	R3-15
議 会 区 分	令和 3 年 9 月議会	質 問 議 員	永本議員【公明クラブ】			
		担 当 部	観光商工部	担 当 課	商工労働課	
質問事項		女性デジタル人材育成への取り組み				
質問要旨		当市にも働きたいけどフルタイムは難しい、好きな時間に好きなだけ働けるなんて、こんな働き方があるとは思ってもいなかった、という方はたくさんいるのではないかと。 塩尻市と同じやり方は出来なくても当市でも女性のデジタル人材の育成に取り組んで頂きたいと思いますが、いかがかと。				
答弁要旨		デジタル人材育成にあたっては、情報収集を行い、今年度新たに就任するデジタル化推進参与およびデジタルフェローからアドバイスをいただきながら、女性に限らず、男性で一人親の方や、障がいを持つ方なども含めた取り組みについて、研究していく。				
処理計画		デジタル人材育成の事業化検討				
完結予定		令和 4 年 4 月 予定				

四半期ごとの処理状況		処理継続 又は完結
第 1 期 (7 月 ～ 9 月)	処理計画を決定。	継続
第 2 期 (10 月 ～ 12 月)	事業化の検討。	継続
第 3 期 (1 月 ～ 3 月)	予算編成。	継続
第 4 期 (4 月 ～ 6 月)	女性・高齢者就労支援事業を拡充し、 テレワークやデジタル人材等をテーマにしたセミナーの開 催に係る費用を予算化。	完結
備 考 欄		

市議会一般質問答弁事項進捗状況報告書

				管理番号	R3-16
議 会 区 分	令和３年 ９月議会	質 問 議 員	金兵議員【民主市民ネット】		
		担 当 部	観光商工部	担 当 課	商工労働課
質問事項		(どこバス) 高齢者利用への対応について			
質問要旨		利用状況から行くと高齢者がメインとなる。しかしながら高齢者の方々はスマホなどの利用が得てではない。 そうなると利用者が増えてきたときにはコールセンターに大きな負担となると考えるが、市の見解は。			
答弁要旨		今後、庁内関係部署とも連携して高齢者に対し、スマホを含めたデジタルに慣れ親しんでもらえる取組みの中で、どこバスのアプリ予約などができるようスマホユーザーの増加を図っていきたい。			
処理計画		介護福祉課と連携して取り組む			
完結予定		令和３年１０月 予定			

四半期ごとの処理状況		処理継続 又は完結
第 1 期 (7 月～9 月)	処理計画を決定。	継続
第 2 期 (10 月～12 月)	高齢者ふれあいの家においてのスマホ教室で実施 (10 月～)	完結
第 3 期 (1 月～3 月)		
第 4 期 (4 月～6 月)		
備 考 欄		

市議会一般質問答弁事項進捗状況報告書

				管理番号	R3-17
議 会 区 分	令和 3 年 9 月議会	質 問 議 員	金兵議員【民主市民ネット】		
		担 当 部	観光商工部	担 当 課	商工労働課
質問事項		公共交通の未来に向けて市のどこバスに関する考え方について			
質問要旨		今後の状況を考えたときに、どこバスは有力な手段であると考え る。市も公共交通計画で進めるように明記されていると考えるが、一 方で2023年以降の明記の仕方が不透明であるとも読み取れる。改め て、公共交通の未来に向けて市のどこバスに関する考え方は。			
答弁要旨		公共交通計画においては、2023年以降は点線で表示されているが、 本格運行については、令和 4 年度に導入を検討となっていることか ら、明記していない状況である。 市としては、どこバスの実証実験を行いながら、持続可能かつ、効 率的で利便性の高い公共交通を目指す観点から、どこバスの本格運行 に向けて取り組んでいきたい。			
処理計画		令和 5 年度本格運行に向け検討 (網走バスと協議)			
完結予定		令和 5 年 4 月 予定			

四半期ごとの処理状況		処理継続 又は完結
第 1 期 (7 月 ～ 9 月)	処理計画を決定。	継続
第 2 期 (10 月 ～ 12 月)	実証運行	継続
第 3 期 (1 月 ～ 3 月)	実証運行	継続
第 4 期 (4 月 ～ 6 月)	実証運行	継続
備 考 欄		

市議会一般質問答弁事項進捗状況報告書

					管理番号	R3-18
議 会 区 分	令和3年 9月議会	質 問 議 員	金兵議員【民主市民ネット】			
		担 当 部	観光商工部	担 当 課	商工労働課	
質問事項		どこバス本格導入に向けた国への要望について				
質問要旨		どこバスの導入に向けては様々な課題もあると考える。例えばどこバスは新たなシステムのため国や道からの補助メニューが無い。そう なると事業費の面で踏み出せなくなることも考えられる。私共でも国 への要請と併せて、現状での補助メニューの確認もしている。 市としても、本格導入に向けてこれまでの路線バス同様の補助をし てくれるよう国などに要望する必要があると考えるが。				
答弁要旨		議員ご指摘のとおり、本格運行に向けては費用負担が課題であり、 現時点では国や道の補助メニューはない状況。 持続可能な公共交通を目指す観点からも、国や道の動向を注視する とともに、情報収集を図りながら、期成会や市長会などにおいての要 望も検討していきたい。				
処理計画		情報収集や国の動向を見ながら、要望について検討する				
完結予定		令和5年4月 予定				

四半期ごとの処理状況		処理継続 又は完結
第 1 期 (7 月～9 月)	処理計画を決定。	継続
第 2 期 (10 月～12 月)	要望内容・方法について検討	継続
第 3 期 (1 月～3 月)	要望内容・方法について検討	継続
第 4 期 (4 月～6 月)	北海道へ要請活動実施（網走市単独） オホーツク圏活性化期成会中央要望・北海道市長会秋季要望 事項の提案	完結
備 考 欄		

市議会一般質問答弁事項進捗状況報告書

					管理番号	R3-19
議 会 区 分	令和 3 年 9 月議会	質 問 議 員	金兵議員【民主市民ネット】			
		担 当 部	観光商工部	担 当 課	商工労働課	
質問事項		どこバスの活用方法について				
質問要旨		どこバスの活用方法として例えば、介護事業者などが現在行っている利用者の移送など、どこバスを利用するといったことも考えられる。このようにどこバスは様々な活用方法も考えられる。こういったことも検討に加えるべきと考えるが見解を				
答弁要旨		今後、高齢者の外出機会の確保や社会参加の促進、また通院や買い物など生活面での移動手段として多様な活用方法について、庁内関係部署と連携しながら検討していきたい。				
処理計画		庁内関係部署と連携し検討				
完結予定		令和 5 年 4 月 予定				

四半期ごとの処理状況		処理継続 又は完結
第 1 期 (7 月～9 月)	処理計画を決定。	継続
第 2 期 (10 月～12 月)	実証運行 どこバスについての周知広報	継続
第 3 期 (1 月～3 月)	実証運行 どこバスについての周知広報	継続
第 4 期 (4 月～6 月)	実証運行 どこバスについての周知広報	継続
備 考 欄		

市議会一般質問答弁事項進捗状況報告書

				管理番号	R3-20
議 会 区 分	令和 3 年 9 月議会	質 問 議 員	金兵議員【民主市民ネット】		
		担 当 部	観光商工部	担 当 課	商工労働課
質問事項		(どこバス)スピーディーな導入に向けての行動について			
質問要旨		現状、市内の路線バスはかなり厳しい状況と言わざるを得ない。今はバス事業者の努力によって路線バスは保たれているが、バス事業者も民間企業なので、これ以上続けられなくなった場合には撤退や事業縮小も行われる。そうなった場合、市が直接事業を行わなければならない。事実、このコロナ禍で事業の縮小、撤退を行ったところもある。そのような中でこのどこバスは有力な手段である（市もそう考えてる？）。であるなら、市も事業者などと協力をし、より積極的に、よりスピーディーに導入に向けて行動をしていく必要があると考えるが見解を。			
答弁要旨		今後は、実証実験の結果を検証し、地域公共交通・活性化協議会において議論しながら、どこバスの本格運行に向けて取り組んでいきたい。			
処理計画		令和 5 年度本格運行に向け検討 (網走バスと協議)			
完結予定		令和 5 年 4 月 予定			

四半期ごとの処理状況		処理継続 又は完結
第 1 期 (7 月 ～ 9 月)	処理計画を決定。	継続
第 2 期 (10 月 ～ 12 月)	実証運行	継続
第 3 期 (1 月 ～ 3 月)	実証運行	継続
第 4 期 (4 月 ～ 6 月)	実証運行	継続
備 考 欄		

市議会一般質問答弁事項進捗状況報告書

				管理番号	R3-21
議 会 区 分	令和3年 9月議会	質 問 議 員	近藤議員【志誠会】		
		担 当 部	観光商工部	担 当 課	商工労働課
質問事項		地域の企業・事業者へのDXのマインドとビジョンの共有を政策的に展開していく必要性について			
質問要旨		行政機関だけがDXを志向していてもそれは社会全体の変革にはつながらない。地域の様々なプレイヤーがDXを意識として取り込み、具体的なアクションを起こしていく必要。そういった点では観光・経済分野のデジタルファーストとも深くかかわるが、地域内の企業・事業者にはDXの必要性やその結果もたらされる生産性の向上、地域社会の変化等のビジョンを共有し、業種業界の枠を超えて、DXによるビジネスモデルのリファインと生産性・持続可能性を高める取り組みを強力に進めていく必要がある。地域の企業・事業者へのDXのマインドとビジョンの共有を政策的に展開していく必要性についてはどのように考えているか。			
答弁要旨		議員お話のとおり、行政だけでなく、地域の企業・事業者もデジタル化に向けて取り組んでいくことは、大事であると思っている。 今後、ますます人口減少に伴う人材不足、人材確保が課題となることが想定されることに加えて、生産性向上、業務の効率化や省力化を図る観点からも、企業のデジタル化は重要であると考えている。 また、コロナ禍を契機として、事業の非接触化、効率化や新たな事業展開など、デジタル技術を活用した、ビジネスの変革に対する機運や意識が高まっているものと認識している。 こうしたことから、デジタル化への意識の醸成や人材確保も含め、事業者を後押しできるような取り組みなどを検討していきたい。			
処理計画		デジタル人材育成の事業化検討			
完結予定		令和4年4月 予定			

四半期ごとの処理状況		処理継続 又は完結
第 1 期 (7 月～9 月)	処理計画を決定。	継続
第 2 期 (10 月～12 月)	事業化の検討。	継続
第 3 期 (1 月～3 月)	予算編成。	継続
第 4 期 (4 月～6 月)	新規事業として、中小企業デジタル化推進事業補助金を創設し、網走商工会議所と連携し市内事業者のデジタル化を推進。	完結
備 考 欄		

市議会一般質問答弁事項進捗状況報告書

				管理番号	R3-22
議 会 区 分	令和 3 年 9 月議会	質 問 議 員	近藤議員【志誠会】		
		担 当 部	観光商工部	担 当 課	商工労働課
質問事項		デジタル人材の育成について			
質問要旨		デジタルファースト宣言を実効性あるものにするためにも、また、地域をあげてDXでより良い社会を目指していくためにも、デジタル人材を地域で育てていくという視点を持っていただきたいと思います。が、認識を伺う。			
答弁要旨		DXを進めるうえでのキーポイントは、「人」であり、デジタル人材の育成・確保が一番の課題であると認識している。 地域でDXを推進していくにあたり、地域でデジタル人材を、育てていくという視点は、大変重要であると考える。 今後、市内において、こうした企業や団体が出てくることを期待し、今年度就任する、デジタル化推進参与およびデジタルフェローからアドバイスをいただきながら、対応について検討していきたい。			
処理計画		デジタル人材育成の事業化検討			
完結予定		令和 4 年 4 月 予定			

四半期ごとの処理状況		処理継続 又は完結
第 1 期 (7 月～9 月)	処理計画を決定。	継続
第 2 期 (10 月～12 月)	事業化の検討。	継続
第 3 期 (1 月～3 月)	予算編成。	継続
第 4 期 (4 月～6 月)	新規事業として、中小企業デジタル化推進事業補助金を創設し、網走商工会議所と連携し市内事業者のデジタル化を推進。	完結
備 考 欄		

市議会一般質問答弁事項進捗状況報告書

				管理番号	R3-23
議会区分	令和3年 9月議会	質問議員	近藤議員【志誠会】		
		担当部	建設港湾部	担当課	都市管理課
質問事項		情報共有の仕組みに対する検討状況について			
質問要旨		スマホから災害の発生状況や地域の困りごと情報など、行政で即座に対応する情報共有の仕組みを「検討する」という答弁について、具体的にどのような視点の検討が続いているか伺う。			
答弁要旨		先進事例の情報収集を行い、スマートフォンアプリのLINEを利用した街の情報提供や、道路の破損・陥没・道路照明の不点灯などに関する通報サービスについて聞き取りを実施する。 市民からの情報の受付・返信方法をどの様にするか等、システム導入における課題等を整理していく。			
処理計画		市民からの情報の受付・返信方法を石狩市、芽室町等の例を参考に研究する。			
完結予定		令和4年10月 予定			

四半期ごとの処理状況		処理継続 又は完結
第 1 期 (7 月 ～ 9 月)	処理計画を決定。	継続
第 2 期 (10 月 ～ 12 月)	処理計画を決定。	継続
第 3 期 (1 月 ～ 3 月)	処理計画を決定。	継続
第 4 期 (4 月 ～ 6 月)	業者選定（企画調整課）	継続
備 考 欄	7/26 入札により業者決定（企画調整課） 秋以降、試行開始予定	

令和３年網走市議会第４回定例会（１２月）に係る
一般質問答弁事項進捗状況一覧表

管理 番号	ページ	件 名	担当部課名
R3-24	１	網走川流域の自治体間連携・多様な連携の可能性について	企画総務部 企画調整課
R3-25	３	電力の地産地消について	企画総務部 企画調整課
R3-26	５	地球温暖化対策推進法の目標設定の考えについて	市民環境部 生活環境課
R3-27	７	網走湖のシジミ資源の減少について	農林水産部 水産漁港課
R3-28	９	夏場のゲレンデ活用の今後の見通しについて	観光商工部 観 光 課
R3-29	１１	民間との連携による夏場のゲレンデ活用について	観光商工部 観 光 課
R3-30	１３	「はな・てんと」での参加団体の写真掲示について	観光商工部 観 光 課
R3-31	１５	産学官が連携したプラットフォームの必要性和認識について	観光商工部 商工労働課
R3-32	１７	商業施設への投票所設置について	選挙管理委員会 事 務 局
R3-33	１９	車での期日前投票所への対応について	選挙管理委員会 事 務 局

市議会一般質問答弁事項進捗状況報告書

				管理番号	R3-24
議 会 区 分	令和 3 年 12 月議会	質 問 議 員	近藤議員【志誠会】		
		担 当 部	企画総務部	担 当 課	企画調整課
質問事項		網走川流域の自治体間連携・多様な連携の可能性について			
質問要旨		網走川流域地域を一体として、低環境負荷、持続可能性の向上などを主眼としたまちづくりのビジョンを共有できる、より強固な自治体間連携の可能性を模索すべき。 網走川の環境保全だけでなく、ごみ処理、デジタル化（バックヤードの共有）、空港の利活用、広域観光などを切り口とした多様な連携へと昇華させる広い視野を持って、流域の「地域循環共生圏」をエリアの価値として打ち立てていくべき。			
答弁要旨		定住自立圏構想では、定住に必要な生活機能を共同で確保し、地域の生活機能をさらに強固なものとするため、大空町に加え、斜里町、小清水町、清里町を含めた 1 市 4 町による新たな圏域の形成に向けた協議を重ねています。 網走川流域地域に限らず、民間団体も含めた様々な自治体連携が構築されているので、既存の連携体制を基軸としながら、環境をテーマとした、横断的な展開の可能性について、各関係自治体との意見交換を進めたいと考えています。			
処理計画		横断的な展開の可能性について関係自治体と意見交換を進めます。			
完結予定		令和 4 年 1 1 月			

四半期ごとの処理状況		処理継続 又は完結
第 1 期 (1 月～3 月)	事務処理計画を決定しました。 1 市 4 町の新たな枠組みによる定住自立圏域を形成しました。	継続
第 2 期 (4 月～6 月)	定住自立圏域の取り組みを定める共生ビジョンの制定に向け、各関係自治体と意見交換を進めています。	継続
第 3 期 (7 月～9 月)		
第 4 期 (10 月～12 月)		
備 考 欄		

市議会一般質問答弁事項進捗状況報告書

					管理番号	R3-25
議 会 区 分	令和 3 年 12 月議会	質 問 議 員	石垣議員【同志会】			
		担 当 部	企画総務部	担 当 課	企画調整課	
質問事項		電力の地産地消について				
質問要旨		災害時公共インフラ等の維持、市民生活、経済活動をブラックアウト時のように止めないという観点からも、「分散型エネルギー社会の実現」「電力の地産地消」について考えは。				
答弁要旨		当市における、電力の地産地消について、様々な手法を念頭により良い仕組みの構築について研究します。				
処理計画		電力の地産地消に係る仕組みの構築を研究します。				
完結予定		令和 4 年 4 月				

四半期ごとの処理状況		処理継続 又は完結
第 1 期 (1 月～3 月)	再生可能エネルギーによる電力の地産地消、ブラックアウト時への対応などを念頭に、令和 4 年度予算に事業を計上します。	継続
第 2 期 (4 月～6 月)	再生可能エネルギーの利用促進や電力の地産地消に取り組む、地域新電力会社を設立しました。	完結
第 3 期 (7 月～9 月)		
第 4 期 (10 月～12 月)		
備 考 欄		

市議会一般質問答弁事項進捗状況報告書

				管理番号	R3-26
議 会 区 分	令和 3 年 12 月議会	質 問 議 員	村椿議員【日本共産党議員団】		
		担 当 部	市民環境部	担 当 課	生活環境課
質問事項		地球温暖化対策推進法の目標設定の考えについて			
質問要旨		網走市が温暖化防止に取り組むとなれば、区域施策編を作ることが必要と考える。見解を伺う。			
答弁要旨		次年度において地域再生エネルギー導入に関する計画を策定することについて検討している。この中で、区域施策編についても検討していきたい。			
処理計画		令和 4 年度において地域再生エネルギー導入に関する計画を策定する。この基本情報をもとに、次年度の令和 5 年度において、区域施策編を策定する。			
完結予定		令和 6 年 3 月 予定			

四半期ごとの処理状況		処理継続 又は完結
第 1 期 (1 月～3 月)	地域再生可能エネルギー導入に関する計画策定の検討	継続
第 2 期 (4 月～6 月)	地域再生可能エネルギー導入に関する計画委託発注方法の 検討	継続
第 3 期 (7 月～9 月)	地域再生可能エネルギー導入に関する計画委託発注予定	継続
第 4 期 (10 月～12 月)		
備 考 欄	令和 5 年 3 月までに策定する	

市議会一般質問答弁事項進捗状況報告書

				管理番号	R3-27
議 会 区 分	令和 3 年 12 月議会	質 問 議 員	松浦議員【日本共産党議員団】		
		担 当 部	農林水産部	担 当 課	水産漁港課
質問事項		網走湖のシジミ資源の減少について			
質問要旨		網走湖ではシジミ資源が減少しており非常に厳しい状況となっているが市としての見解を伺う。			
答弁要旨		網走湖については気象の変化などによりシジミ再生産が確認されておらず資源が減少している。 この問題については市としても漁協及び関係機関により検討会を設置し対策を検討している。 現在は湖の塩分も高くなり少しずつ資源が添加されてきているが、最盛期と比較すると100t近く生産量を減産している。 今後も河川管理者である網走開発建設部などの関係機関と資源増大対策について検討を進める。			
処理計画		・ 網走湖ヤマトシジミ資源対策検討会による資源増大に向けた検討 ・ 網走湖ヤマトシジミ資源安定化対策事業による各種調査の実施 ・ 網走湖・網走川ヤマトシジミ種苗生産の実施 ・ 国（網走開発建設部）によるシジミ産卵環境再現試験（試行的対策）や水環境改善に対策に関する協議の実施			
完結予定		令和 6 年 3 月予定（網走湖ヤマトシジミ資源安定化対策事業）			

四半期ごとの処理状況		処理継続 又は完結
第 1 期 (1 月～3 月)	処理計画を決定。	継続
第 2 期 (4 月～6 月)	第 12 回網走湖ヤマトシジミ資源対策検討会の開催 試行的対策に関する国との協議 各種調査の実施	継続
第 3 期 (7 月～9 月)		
第 4 期 (10 月～12 月)		
備 考 欄		

市議会一般質問答弁事項進捗状況報告書

				管理番号	R3-28
議 会 区 分	令和 3 年 12 月議会	質 問 議 員	古田議員【志誠会】		
		担 当 部	観光商工部	担 当 課	観光課
質問事項		夏場のゲレンデ活用の今後の見通しについて			
質問要旨		夏場は活用されていない網走レイクビュースキー場のゲレンデは、今後も活用の見通しはあるのか、無いのか、無いとした場合の理由を合わせてお聞きします。			
答弁要旨		夏場の利用にあたっては、スキー場内の雑草駆除が大きな課題であり、スキー場の管理の一環でゲレンデを除草した時期のみに開放するなど、スポット的な利用の可能性について、観光事業者や施設を管理するスポーツ課とも協議しながら、研究していきたい。			
処理計画		夏場のゲレンデの活用について、スポーツ課、観光協会、体験型観光事業者などと協議し、どのように活用できるか研究する。			
完結予定		令和 5 年 3 月 予定			

四半期ごとの処理状況		処理継続 又は完結
第 1 期 (1 月～3 月)	処理計画を決定。	継続
第 2 期 (4 月～6 月)	活用について、スポーツ課、観光協会、体験型観光事業者等 と協議中	継続
第 3 期 (7 月～9 月)		
第 4 期 (10 月～12 月)		
備 考 欄		

市議会一般質問答弁事項進捗状況報告書

				管理番号	R3-29
議 会 区 分	令和 3 年 12 月議会	質 問 議 員	古田議員【志誠会】		
		担 当 部	観光商工部	担 当 課	観光課
質問事項		民間との連携による夏場のゲレンデ活用について			
質問要旨		景観の素晴らしい場所を活用して新たな網走の魅力を発信し、スキー場シーズンオフのゲレンデを活かしたいと考えている方もいると思いますので、今後その方々と連携を図り、事業を進めていってはいかがかと思いますが、お考えについてお伺いします。			
答弁要旨		体験型観光のコンテンツ造成は、今年度も観光協会を通して民間事業者と連携を図っている。 夏場のゲレンデの活用についても、観光協会や民間事業者と連携し、どのようなアウトドアコンテンツのニーズがあるのか情報交換を行い、今後の展開について研究していきたい。			
処理計画		夏場のゲレンデの活用について、観光協会や体験型観光事業者などと協議し、どのように活用できるか研究する。			
完結予定		令和 5 年 3 月 予定			

四半期ごとの処理状況		処理継続 又は完結
第 1 期 (1 月～3 月)	処理計画を決定。	継続
第 2 期 (4 月～6 月)	活用について、観光協会、体験型観光事業者等と協議中。	継続
第 3 期 (7 月～9 月)		
第 4 期 (10 月～12 月)		
備 考 欄		

市議会一般質問答弁事項進捗状況報告書

				管理番号	R3-30
議 会 区 分	令和 3 年 12 月議会	質 問 議 員	永本議員【公明クラブ】		
		担 当 部	観光商工部	担 当 課	観光課
質問事項		「はな・てんと」での参加団体の写真掲示について			
質問要旨		現在では参加団体名が掲示されているが、各団体の写真も掲示すればボランティアの方々のモチベーションも上がり、訪れた人もこういう人たちがやってくれているんだ、という親近感も湧くのではないかな。			
答弁要旨		定植作業終了後に里親の写真を撮影し、現在も観光協会のホームページに掲出しているが、今後、参加団体の希望を確認したうえで、施設内の来場者の目につきやすい箇所に、里親紹介の写真を掲示できないか検討する。			
処理計画		令和 4 年度より山頂ロッジ内に写真を掲示する。			
完結予定		令和 4 年 9 月 予定			

四半期ごとの処理状況		処理継続 又は完結
第 1 期 (1 月～3 月)	処理計画を決定。	継続
第 2 期 (4 月～6 月)	8 月(予定)までに、山頂ロッジ内に写真掲示ができるよう、 定植時に写真撮影を実施。	継続
第 3 期 (7 月～9 月)		
第 4 期 (10 月～12 月)		
備 考 欄		

市議会一般質問答弁事項進捗状況報告書

				管理番号	R3-31
議会区分	令和3年 12月議会	質問議員	近藤議員【志誠会】		
		担当部	観光商工部	担当課	商工労働課
質問事項		産学官が連携したプラットフォームの必要性和認識について			
質問要旨		地域におけるDXを推進するために、地元でのデジタル人材の育成や外部からのデジタル人材の誘致のためのテレワーク拠点の整備やシェアオフィスの開設を望む声がある中で、国の地方創生テレワーク交付金を活用したいという相談を複数受けているが、交付金の活用を念頭に置くと、必要不可欠なのが本市としての「地方創生テレワーク推進実施計画」である。 上位計画の策定とともに、各種施策の落とし込みにも関連する実施計画も同時に検討を進めていただきたい。地域で既に芽吹いている様々な動きをバックアップすべきと考えるが認識を伺う。			
答弁要旨		現在開催中の臨時国会で「デジタル田園都市国家構想推進交付金」が創設される予定。 この交付金は、現行の地方創生テレワーク交付金の後継事業で、サテライトオフィスやコワーキングスペース等の開設に係る経費などが対象。 今後、地域におけるDX推進を図り、テレワークの拠点整備や新たな人の流れを創出するためにも、この交付金の活用について検討していく。			
処理計画		デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し、中心市街地にコワーキングスペースの整備を検討			
完結予定		令和4年9月 予定			

四半期ごとの処理状況		処理継続 又は完結
第 1 期 (1 月～3 月)	処理計画を決定。 中心市街地コワーキングスペース整備事業補助金の補正予算計上。	継続
第 2 期 (4 月～6 月)	デジタル田園都市国家構想推進交付金交付決定。 コワーキングスペース整備に係る準備。	継続
第 3 期 (7 月～9 月)		
第 4 期 (10 月～12 月)		
備 考 欄		

市議会一般質問答弁事項進捗状況報告書

					管理番号	R3-32
議 会 区 分	令和 3 年 12 月議会	質 問 議 員	澤谷議員【公明クラブ】			
		担 当 部	選挙管理委員会	担 当 課	事務局	
質問事項		商業施設への投票所設置について				
質問要旨		投票所の統廃合を含め、選挙人の利便性の向上の一環として商業施設での投票所の設置の可否について伺う。				
答弁要旨		選挙時の安定的な会場確保、二重投票の防止対策など対応が必要な事項についての整理は必要であるが、バリアフリーや来場しやすいなどの観点から、例えば、エコーセンターで行うことなど具体的な施設を想定しての検討に取り組んでいく。				
処理計画		基幹系システムのベンダー（供給元）に提案を踏まえ検討する。				
完結予定		令和 5 年 4 月末 予定（次期網走市議会議員選挙後）				

四半期ごとの処理状況		処理継続 又は完結
第 1 期 (1 月～3 月)	処理計画を決定。	継続
第 2 期 (4 月～6 月)	期日前・不在者投票システムの更新及び移動式投票所対応業務により二重投票防止対策等を含め、基幹系システムのベンダー（供給元）の提案に基づきシステムを構築した。	継続
第 3 期 (7 月～9 月)		
第 4 期 (10 月～12 月)		
備 考 欄		

市議会一般質問答弁事項進捗状況報告書

				管理番号	R3-33
議 会 区 分	令和 3 年 12 月議会	質 問 議 員	澤谷議員【公明クラブ】		
		担 当 部	選挙管理委員会	担 当 課	事務局
質問事項		車での期日前投票所への対応について			
質問要旨		今般の衆院選時の石狩市のように移動式期日前投票所の設置の可否について伺う。			
答弁要旨		市役所以外での期日前投票については、別会場の開設や車両による移動式も考えられるが、二重投票の防止や秘匿管理、投票管理者及び従事者の確保などを含め投票管理など、整理する必要がある。 現在、二重投票の防止に関するシステムの改修・設備の構築、ランニングコストなどについて、当市の基幹系システムのベンダー（供給元）に提案を依頼しており、その内容を踏まえて検討していきたい。 比較的小さい規模の地域においても投票環境の改善に向けた取り組みが実施されており、当市としても今後、検討を進めていく。			
処理計画		基幹系システムのベンダー（供給元）に提案を踏まえ検討する。			
完結予定		令和 5 年 4 月末 予定（次期網走市議会議員選挙後）			

四半期ごとの処理状況		処理継続 又は完結
第 1 期 (1 月～3 月)	処理計画を決定。	継続
第 2 期 (4 月～6 月)	期日前・不在者投票システムの更新及び移動式投票所対応業務により二重投票防止対策等を含め、基幹系システムのベンダー（供給元）の提案に基づきシステムを構築した。	継続
第 3 期 (7 月～9 月)		
第 4 期 (10 月～12 月)		
備 考 欄		